

## 国土交通省政策会議（第11回）議事要旨

1. 日時 平成22年2月4日（木）17:30～18:30

2. 場所 中央官庁合同庁舎第3号館（国土交通省）10階共用大会議室

3. 出席者

【国土交通省】辻元清美副大臣

長安豊大臣政務官、三日月大造大臣政務官、藤本祐司大臣政務官

4. 議題

○通常国会提出予定2法律案について

- ・排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律案
- ・航空法の一部を改正する法律案

○その他

5. 議事要旨

（1）挨拶

（2）議事要旨

- 配付資料に沿って説明
- 質疑

（3）出席議員からの主な意見

【航空法の一部を改正する法律案について】

- ・ 特定操縦技能の審査が必要な一定期間とは法律で規定されるのか。
- ・ 准定期運送用操縦士の取得者は、何年乗務すれば機長になれるのか。
- ・ 自家用操縦士と准定期運送用操縦士の関係を教えてほしい。

【その他】

- ・ 軽油引取税について、道路を利用しない車両等への免税措置がなくなると、特に地方の第三セクターの鉄道が困ると聞いているが、どうなのか。免税措置がなくなるのなら国交省として代替措置を検討してほしい。
- ・ 建築基準法の改正により、曳屋ができなくなって土蔵を壊さなければならないなどの事例がある。歴史的建造物の保存のための配慮・工夫はできないか。

- ・ ハッ場ダムで下流都県が負担する基金事業があり、地元への影響が大きい。地元住民の生活再建に関しては、このような事業の扱いも含めた全体像を示して当たってほしい。
- ・ クリーニング店が住宅・商業地域で引火性石油溶剤を使用して営業していることについて、建築基準法違反として調査を行っているとのことだが、クリーニング店は通常住宅地にあるので、これらをすべて摘発するのは現実的ではないのではないか。
- ・ 高速道路無料化の政策意図が国民に明確に伝わっていない。無料化の目的や国家像と合わせて、政策の意義をしっかりと語るべき。
- ・ 成田新高速鉄道の北総線の運賃が高い。要望として、運賃については、運輸審議会だけでなく、消費者サービスの観点から消費者委員会においても検討して頂きたい。
- ・ 熊本の荒瀬ダムの撤去に対して、国の財政的・技術的な支援をお願いしたい。既存ダムの撤去は全国初であり、今後のモデルケースとなるものである。

～以上～